

2015年8月21日  
株式会社ワークスアプリケーションズ

## 伊藤忠商事グループの日本アクセス、人事システムをクラウド化 ～災害・障害対応の迅速化、工数削減をはかる～

株式会社ワークスアプリケーションズ（本社：東京都港区、代表取締役最高経営責任者：牧野正幸、以下 ワークス）は、株式会社日本アクセス（本社：東京都品川区、代表取締役社長：田中茂治、以下 日本アクセス）より、人事システムのインフラ基盤として「COMPANY® on Cloud Managed Service」（以下 CCMS）を受注いたしましたので、お知らせいたします。

### ●サーバー保守におけるトラブル発生時の対応工数や BCP 対策が課題に



# 日本アクセス

日本アクセスは、様々なメーカーのドライ（常温）・チルド（冷蔵）・フローゾン（冷凍）の全温度帯をバランス良く取り扱い、小売業、外食産業等に提供する「全温度帯流通機能」を最大の特長とする、食品卸売業の大手企業です。同社では、設立 20 周年を迎えた 2013 年に、「心に届く、美味しさを。」を新たな企業理念のスローガンとして掲げ、

「卸売」の枠を超えた「卸」企業を目指すべく、これまでの事業領域である「卸売市場」「ロジスティクス市場」に、新たに「製造・加工市場」を加え、この 3 つの市場分野における独自の価値の創造を目指しています。また、同社では 2011 年の東日本大震災以降、「食のライフライン」としての使命を改めて感じると共に、社内システムの BCP（事業継続計画）対策や災害・障害時のシステム運用対策の重要性が再認識されることとなりました。現行のサーバー運用では、災害・障害時の対策方針の決定などに多くの工数がかかっていたことから、インフラ基盤の刷新が検討されました。

### ●クラウド化で災害・障害時における対応の迅速化、工数削減を目指す

日本アクセスは、利用中の人事システム（「COMPANY® HR シリーズ」）のインフラ基盤として、AWS の構築・運用をワークスが一貫して代行する「CCMS」の採用を決定しました。採用にあたって特に評価されたのは、以下の 3 点です。

#### 1. アプリケーションからインフラまで、一貫した運用が可能に

これまでは、アプリケーションとインフラの運用先が別であったため、特に災害・障害などのトラブル発生時には問題の切り分け等に工数がかかっていたが、「CCMS」の採用によりアプリケーションからインフラまでを一貫してワークスで行うことが可能となる点。

#### 2. インフラ運用の工数削減

旧来のサーバー運用では、給与計算等各機能の稼動に必要な表領域の監視や、サーバーリプレイス時の方針決定をユーザー部門にて担っていたが、「CCMS」ではワークスが各種運用からサポートまでを一貫して行うため、大幅な工数削減が見込める点。

#### 3. BCP 対策

2011 年の東日本大震災以降、重要性が再認識されてきた BCP（事業継続計画）対策について、自社でデータを保有しないクラウドの採用が有用である点。

社内システムのクラウド化により、日本アクセスは「食のライフライン」を担う企業として、より強固な災害・障害時対策を展開していきます。

また、ワークスは「CCMS」により、インフラからアプリケーションまで一貫した問題解決を行い、より一層お客様の情報投資効率向上に貢献してまいります。

## ■「CCMS」のサービスメニュー一覧

「CCMS」は、クラウドでERPシステムを稼働するための下記サービスを定額料金で提供します。

| 導入                |  |
|-------------------|--|
| ネットワーク環境・サーバ環境の構築 | Amazon Virtual Private Cloud (Amazon VPC) 、 Amazon EC2 を用いたクラウド環境の構築 |
| 運用                |  |
| セキュリティ            | トレンドマイクロのサーバセキュリティ技術による不正プログラム対策、ぜい弱性対策                              |
| リソース管理            | 日々のインスタンスの起動停止、スケール変更対応  |
| 監視                | 死活監視、ログ監視、性能監視   |
| バックアップ            | インスタンス、ログ、データの無停止バックアップ  |
| 障害対応              | 各種障害からの自動復旧（24時間365日対応）  |
| システム診断            | 利用コストレポート、リソース使用状況レポート   |

### ◆ 株式会社日本アクセスについて

|      |   |
|------|---|
| 商号   | 株式会社 日本アクセス   |
| 創立   | 1952年10月1日  |
| 設立   | 1993年10月1日  |
| 代表者  | 代表取締役社長 田中茂治  |
| 資本金  | 26億2千万円   |
| 所在地  | 〒141-8582 東京都品川区大崎一丁目2番2号   |
| 事業内容 | 食品、水産物、農産物、畜産物、花卉等の販売・輸出入・買付・加工・商品企画・開発・品質検査・分析業務及び貨物自動車運送事業、食品安全コンサルタント業務、情報処理サービス業務 |
| 売上高  | 1兆7,841億円（2014年度・連結）  |
| 従業員数 | 3,543名（2015年3月末現在）  |

### ◆ 株式会社ワークスアプリケーションズについて

|      |  |
|------|--|
| 商号   | 株式会社ワークスアプリケーションズ  |
| 設立   | 1996年7月  |
| 代表者  | 代表取締役最高経営責任者 牧野 正幸<br>代表取締役最高執行責任者 阿部 孝司<br>代表取締役最高技術責任者 石川 芳郎 |
| 資本金  | 3,626,506千円  |
| 所在地  | 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 19階                                     |
| 事業内容 | 大手企業向けERPパッケージシステム「COMPANY®」および「HUE」の開発・販売・サポート                |
| 売上高  | 32,829百万円（連結）※2014年6月末時点                                       |
| 従業員数 | 3,907名（連結）※2015年6月末時点  |